

Centre Number	Candidate Number	Name
---------------	------------------	------

UNIVERSITY OF CAMBRIDGE INTERNATIONAL EXAMINATIONS
International General Certificate of Secondary Education

FOREIGN LANGUAGE JAPANESE

0519/02

Paper 2 Reading and Directed Writing

October/November 2005

Candidates answer on the Question Paper.
No Additional Materials are required.

1 hour 30 minutes

READ THESE INSTRUCTIONS FIRST

Write your Centre number, candidate number and name on all the work you hand in.
Write in dark blue or black pen in the spaces provided on the Question Paper.
Do not use staples, paper clips, highlighters, glue or correction fluid.

Answer **all** questions in **Section 1** and **Section 2**.

You may also attempt **Section 3**.

The number of marks is given in brackets [] at the end of each question or part question.

At the end of the examination, fasten all your work securely together.



SECTION ONE

もんだい 1

ただし いたえを ひとつ えらんで、□の中に ○を かいてください。

1 この学生は 何を べんきょうして いますか。

A けいざい

B えい語

C すう学

D ちり



[1]

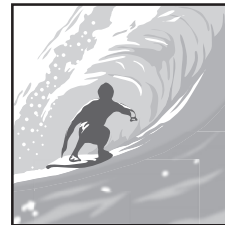
2 この人は どんなスポーツが すきですか。

A サーフィン

B サッカー

C ホッケー

D スキー



[1]

3 この えの 中に 男の人が 何人いますか。

A ふたり

B ひとつ

C ふたつ

D ひとり



[1]

4 あしたは どんな てんき ですか。

A はれ

B ゆき

C くもり

D あめ



[1]

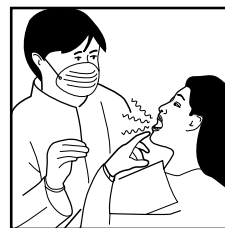
5 どこが いたいですか。

A あし

B おなか

C は

D あたま

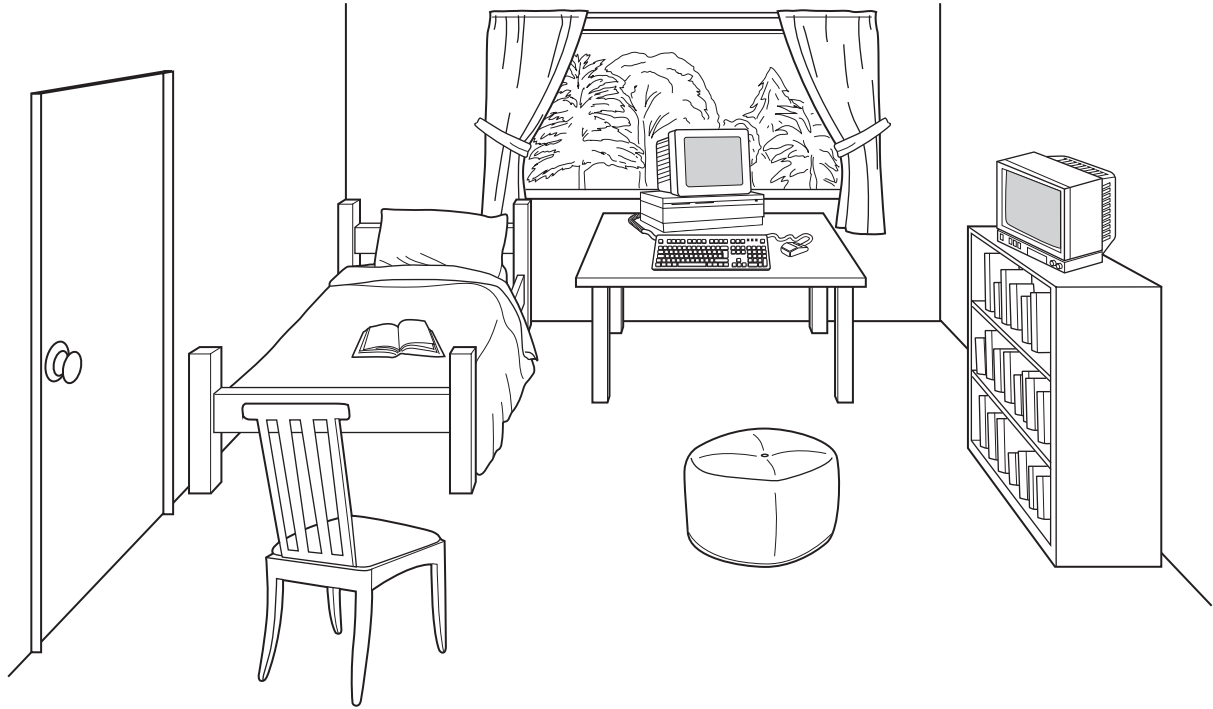


[1]

[Total: 5]

もんだい 2

これは、わたしの へや です。下の ぶん の 中で、ただしい ぶんには、○、ただしくない ぶんには ×を () の中に かいてください。



- 6 () つくえの 上に コンピュータと 本が あります。
7 () 本だなは ベッドの となりに あります。
8 () いすは ドアの ちかくに あります。
9 () わたしは へやで テレビを みません。
10 () まどから 木が たくさん みえます。

[Total: 5]

もんだい 3

学校の コンサート (concert) の こうこく です。 この こうこくを
よんで、下のぶんを かんせい させてください。

ポップ コンサート

アメリカの こう校生が ポップ コンサートを します。

- ❖ 12月17日 (土) 夜8時~10時
- ❖ たいいくかん
- ❖ きっぷは 500円です。
クラスの かいけいの 人から かってください。
- ❖ きっぷの お金で アフリカに たべものを おくります。

11 こう校生は から きます。 [1]

12 コンサートは まで です。 [1]

13 コンサートは で します。 [1]

14 きっぷは 円です。 [1]

15 アフリカの人たちに を あげます。 [1]

[Total: 5]

SECTION TWO

もんだい 1

つぎの テキストを よんで、しつもん に こたえてください。

わたしの ちは、 うみの そばの まちに あります。 うちの うしろが もりに なっていて、ふるい じんじゃが あります。 じんじゃは、さくらの 木が たくさん ありますから、はるに とても きれいです。 さくらの はなの下で 大人は おさけを のみながら、おすしを たべます。 子どもは、おいしい おかしを たべながら、うたを うたいます。

なつは はるより たのしいです。 うみで、すいえいや つりを して あそびます。

ふゆは、かぜが つよくて、ゆきが すこし ふります。

まちの 学校は、 小学校と 中学校だけ です。 わたしは、らい年 こう校生に なりますから、大きい まちの こう校で べんきょうします。 バスで 一時かん かかりますから、あさ はやく おきます。 小さい まちが すきですから、 行きたくないです。

16 もりは どこに ありますか。

..... [1]

17 どうして、じんじゃは はるに きれいになりますか。

..... [1]

18 はるに 子どもたちは じんじゃで 何を しますか。

..... [2]

19 なつは どうして たのしいですか。

..... [2]

20 ふゆの てんきは どうですか。

..... [2]

21 なぜ、らい年、この人は はやく おきますか。

..... [2]

[Total: 10]

SECTION THREE

もんだい 1

マークさんが ともだちの のりおさんに 手がみを かきました。 手がみを
よんで、しつもん に こたえてください。

のりおくんへ

のりおくんが 日本に かえってから、三ヶ月に なりますね。 おげんき ですか。
日本の 学校は どうですか。 えい語の べんきょうは どうですか。
がんばっていますか。 しりたいです。 えい語で メールか 手がみを ください。

イギリスでは、よく いっしょに スコットランドの やまに のぼりましたね。とても
たのしかった ですね。 日本でも やまのぼりを していますか。

ぼくの 学校では、あと 三しゅうかんで なつやすみに なります。
でも、なつやすみの前に しけんが ありますから、べんきょうが たいへん です。

ぼくの ドイツ語の 先生は、四月に ドイツの こうとう学校を みに 行きました。
そこで ドイツ人の ヘーゲルさんに あって、ともだちに なりました。 ヘーゲルさんは
その こう校の れきしの 先生 です。

ヘーゲルさんの 子どもの ハンツくんは こうとう学校の 二年生です。 えい語と
やまのぼりが とくい です。 ぼくは ドイツ語を べんきょうしたかった ですから、
先生が ハンツくんを ぼくに しょうかいしました。 ハンツくんは、ぼくに えい語で
手がみを かきますが、ぼくは ドイツ語で かきます。 ぼくは ドイツ語が にが手
ですが、すこし 上手に なりました。

ハンツくんは 八月に イギリスに あそびに きます。 ハンツくんも やまのぼりが
すきですから、いっしょに スコットランドに 行って やまに のぼります。
のりおくん、ハンツくんにも えい語で 手がみを かきませんか。 ともだちに
なって、三人で いっしょに ふじさんに のぼりましょう。

では、また かきます。おげんきで。

6月20日

マークより

22 のりおさんは いつ 日本に かえりましたか。

.....

23 マークさんは、なぜ、なつやすみの 前に たくさん べんきょうを しますか。

..... [1]

24 マークさんは どうして ハンツくんを しっていますか。

..... [2]

25 ハンツさんの おとうさんは 何を していますか。

..... [1]

26 マークさんは なぜ ハンツさんに えい語で 手がみを かきませんか。

..... [2]

27 マークさんは、どうして ハンツさんを のりおさんに しょうかい したい
ですか。

..... [3]

[Total: 10]

もんだい 2

下の ぶんを よんで、しつもんを こたえて ください。

むかし むかし、ある ところに、木こりが いました。 おとうさんと おかあさんは もう いません。 きょうだいも ありませんから、ひとりで すんでいました。 まいにち、やまで 木を きって、まちで うっていましたが、お金が あまり ありませんでした。 ですから、こめや やさいを つくって たべていました。

ある日、やまの中の 木の下に しろい きれいな とりが いました。 はねに けがを していました。 木こりは、はねに くすりを つけて、たべものと 水を あげました。

その一週かん あとで とても きれいな 女の人が 木こりの うちに きました。

「わたしは うちも かぞくも ありません。 あなたの うちに すんでも いいですか。」 木こりは、「いい ですよ。」と いいました。 女の方は あさから ばんまで よく はたらいて、やさいで おいしい りょうりを つくりました。

ある日、女の方は いいました。「わたしは おりものをつくります。 まちで うってください。 でも、おりものの へやに 入ってはいけません。」

この日から、女の方は まいばん おりものをつくっていました。 三十日目の あさ、女の方は へやから 出てきて、木こりに かばんを わたしました。

木こりは まちの人たちに おりものを みせました。 たくさんの人が いいました。

「わたしに うってください。お金を たくさん あげますから。」 おりものは とても たかく なりました。 木こりは たくさんの お金を もらいました。 きものや たべものを たくさん かって、うちに かえりました。そして もう やまに 行きませんでした。 こめも やさいも ぜんぜん つくりませんでした。

一ヶ月ぐらい あとで、りっぱな 男の人が きて、いいました。「おりものが ほしいです。お金を たくさん あげます。 つまに いちばん いい きものを あげたい です。」 女の方は いいました。「わたしは とても つかれていますから できません。 お金は もう たくさん ありますよ。」 でも、木こりは いいました。「大きい うちが ほしいです。 おりものを もう 一まい つくってください。」

女の方は また おりものの しごとを はじめました。 三十一日目に なりましたが、おりものは まだ おわりません。 女の方は まだ へやの中に います。 おりものを はやく みたい、、、木こりは ドアを あけて、中を みました、、、

28 木こりは どうして こめや やさいを つくっていましたか。

..... [2]

29 この はなしの はじめには、 木こりは どんな人 でしたか。

..... [2]

30 女の人が きてから、木こりの まい日は どうなりましたか。

..... [2]

31 かばんの中に 何が 入っていましたか。

..... [1]

32 木こりは おりものを うってから、どんな人に なりましたか。

..... [3]

[Total: 10]

